



Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A

Treasury Department
Av. Paulista, 1274 – Bela Vista
São Paulo, SP – 01310-925

1. マーケット・レート

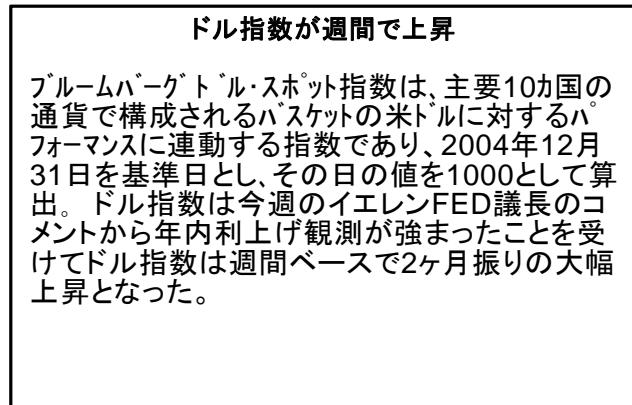
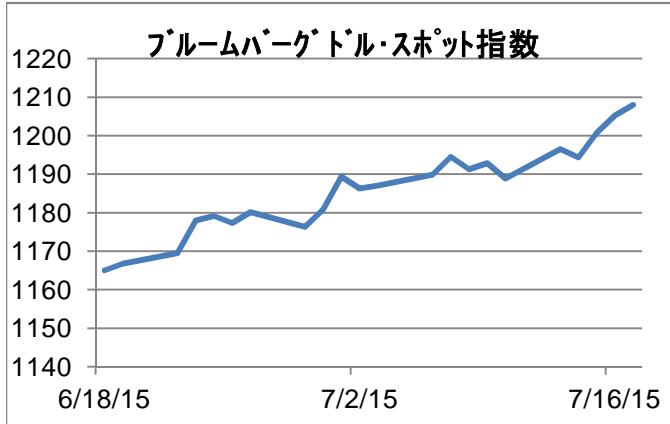
			7月13日	7月14日	7月15日	7月16日	7月17日	Net Chg
為替	USD/BRL	Spot	3,1330	3,1400	3,1400	3,1560	3,1880	+0,0320
	BRL/JPY	Spot	39,38	39,30	39,42	39,33	38,91	-0,42
	EUR/USD	Spot	1,1002	1,1009	1,0949	1,0877	1,0830	-0,0047
	USD/JPY	Spot	123,43	123,40	123,77	124,14	124,09	-0,05
金利	Brazil DI	6MTH(p.a.)	14,04	14,06	14,04	14,04	14,02	-0,0186
	Future	1Year(p.a.)	13,93	13,93	13,91	13,91	13,88	-0,0317
	On-shore	6MTH(p.a.)	1,396	1,384	1,372	1,416	1,480	+0,064
	USD	1Year(p.a.)	1,917	1,940	1,920	1,923	1,992	+0,069
株式	Bovespa指數		53.119,47	53.239,18	52.902,28	53.069,75	52.341,80	-727,95
CDS	CDS Brazil 5y		253,31	254,32	260,55	258,46	264,47	+6,01
商品	CRB指數		218,514	219,384	216,623	215,554	214,542	-1,013

* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインディケーションです。実際のレート提示は弊行担当アカウント・オフィcerまでお問い合わせ下さい。

2.週間市況、トピックス

- 今週の為替相場は3.1670で寄り付いた。
- 週初めにはギリシャと債権団が合意に至ったことから株式市場を中心にリスク資産の買いが見られ、イタリアとポルトガルの株価指数はこの4営業日で10%余り上昇した。更にバルボーサ伯企画相のコメントが好感されたことを受けたほか、大口の資金流入の噂が聞かれるたとえアルはじりじりと上昇した。
- 翌14日には米6月の米小売売上高が予想外に減少したことから利上げ観測が弱まり、ドルが対主要通貨で大きく下落、レアルは週間高値となる3.1150まで一時的に急反発した。しかしルセフ大統領の予算削減案が議会承認を得ることが難しいとの見方が市場で強まるたとえアルは他の主要通貨の対ドルの動きに反して再び売り圧力が優勢となった。
- 週央にはイエレンFRB議長は議会証言で再度年内に利上げが可能であることを表明したほか、初回利上げを先送りした場合には遅れを取り戻すためにその後の利上げペースを加速する可能性があると指摘、ドルは対主要通貨で上昇し、レアルは3.1640まで続落した。
- 更に翌16日にはペトロプラスを舞台とした汚職疑惑を巡って、検事総長がルラ前大統領を捜査対象にしたとの報道を受けて、レアルは3.1610まで下値を拡大した。
- 週末にかけては前日に汚職疑惑として名が挙がったブラジル下院議長のクンヤ氏がルセフ政権への支持を取り消し、野党側に回ると発表したほか、彼が所属している政党も説得すると伝えたことから市場では政治不安が強まったと見てレアルは売りが優勢となり週間安値となる3.2020を付け、結局3.1880で越週した。

3.今週のチャート&ハイライト



出所:Bloomberg



4.来週の為替市場注目点

予想ドル・レアル相場レンジ：3.05–3.20

今週はギリシャ問題が一件落着となったことを受けてレアルは買い戻される展開となった。しかし国内要因が重しそなってレアルは結局3.2000まで反落した。汚職問題でルラ前大統領が捜査対象となっただけでもサプライズは大きかったが、更にはクンヤ下院議長までが汚職疑惑で名が挙げられた。クンヤ氏は名が挙がったことに対して怒りを示し、与党としての支持を却下すると発表している。野党側に回ることになればますますルセフ政権は弱くなり、財政調整で必要な議会承認が更に難しくなる。更に今日発表されたブラジルの経済活動が前月比で0.20%の成長見込に対して0.03%とほぼゼロ成長となったことからレヴィ財務相率いる財政調整は下半期に大きく頼ることになる。市場では1.2%の財政収支黒字目標が不可能であると見て下方修正されるとの見方が強く、来週以降の展開に注目が集まる。結果次第でリスクオフモードが更に悪化し、レアルは3.30台まで続落することも可能であり、レアルの

5.本日の主要経済指標

国	イベント	予想	実績	前回
ブラジル	Fipe CPI-週次	0.45%	0.57%	0.43%
ブラジル	経済活動(前月比)	0.20%	0.03%	-0.88%
ブラジル	経済活動(前年比)	-4.00%	-4.75%	-3.24%
ブラジル	CNI産業信頼感	--	37.2	38.9
米	住宅着工件数	1106K	1174K	1069K
米	建設許可件数	1150K	1343K	1250K
米	消費者物価指数(前月比)	0.3%	0.3%	0.4%

6.来週発表される主要経済指標

国	日付	イベント	期間	予想	前回
ブラジル	7/20	IGP-M Inflation 2nd Preview	jul/12	--	\$636M
ブラジル	7/22	貿易収支(週次)	Jun	--	-115599
米	7/22	MBA住宅ローン申請指數	Jul	60,0	62,9
ブラジル	7/22	IBGEインフレ率IPCA-15(前月比)	May	-3,0%	-3,5%
ブラジル	7/22	IBGEインフレ率IPCA-15(前年比)	May	--	-8,5%
ブラジル	7/22	経常収支	Jun	0,3%	1,2%
ブラジル	7/22	海外直接投資	May	-3,75%	-3,13%
ブラジル	7/23	FGV CPI IPC-S	Jun	--	91500M
ブラジル	7/23	失業率	Jun	0,2%	-0,2%
米	7/23	新規失業保険申請件数	Jul	--	0,57%
ブラジル	7/23	ブルームバーグ 7月 ブラジル 経済誌	jul/15	--	0,82%
ブラジル	7/24	Fipe CPI-週次	jul/11	283K	297K
ブラジル	7/24	FGV消費者信頼感	jul/15	--	0,43%
米	7/24	マーキット米国製造業PMI	Jul	--	38,9
米	7/24	新築住宅販売件数	Jun	0,3%	0,4%